

有馬記念

有馬記念は 19 年、昨年のように大逃げの馬がハイペースを作ると、ステイヤーの資質が問われます。

しかし、今年は逃げ争いはなさそう。
であれば加速力が問われます。その資質に長けたダンチヒ、ヌレイエフを強化された馬を狙います。

本命はジャスティンパレス。

父は自身も産駒も有馬記念を勝っているディーピンパクト。

母父はヌレイエフ系のパレスルーマー。
有馬記念で要求される加速力を強化する系統。

2010 年に 14 番人気 3 着、2011 年 9 番人気 3 着のトゥザグローリーと
2014 年に 9 番人気 2 着のトゥザワールドは全兄弟。
どちらも母の母父はヌレイエフ。

2020 年に 1 着のクロノジェネシスも父の母父がヌレイエフ。
母の母父はロベルト系のレッドランサム。

古くからロベルト系は有馬記念に相性が良く、
ペースを問わず、ロベルト系を持つ馬の好走が目立ちます。
(冬の中山芝の路盤はロベルト系の馬力が問われやすいため。)

実際、同馬も昨年末に中山で行われたホープフル S で 2 着。
昨年の勝ち馬エフフォーリアも父はロベルト系。

そのロベルトが父系。
かつ母父にダンチヒを配合された馬が、
有馬記念を連覇したグラスワンダー。

同馬も母父はダンチヒ。

その血を継ぐスクリーンヒーローの産駒ゴールドアクターも有馬記念を優勝。

特に馬場がタフでペースが緩む有馬記念ではロベルト系。
かつ、ダンチヒの加速力も兼ね備えたグラスワンダーの血を継ぐ馬に有利。

ジェラルディーナは3代父に有馬記念を連覇したグラスワンダー。
2代父のスクリーンヒーローの産駒もゴールドアクターが有馬記念を優勝。
母はジェンティルドンナ。その母父はダンチヒ系。有馬記念も優勝した歴史的名牝。

タイトルホルダーは、今年はマイペース。
自身の心身も含め、昨年よりも能力を発揮しやすい状況。

エフフォーリアの近2走は阪神。
リピーターが走りやすい有馬記念。
しかも前走で合わないレースを凡走して不当に
人気が落ちている馬も走りやすいのが有馬記念の傾向。